

●学童保育所

1. 施設概要

学童保育所は、市内に居住する小学校1年生から3年生（障がい児は4年生）までの児童で、保護者の就労や疾病等により日常的に保育を受けることのできない児童に対し、適切な遊びや指導のもとで健全な成長と発達を促すことを目的とした施設です。

(1) 施設一覧

学童保育所は小学校全9校の近隣に1施設ずつ全9施設設置しています。そのうち、3施設は小学校の敷地内に設置、3施設は児童館と併設、3施設は単独施設となっています。

延床面積をみると、最も小さい施設のみなみ学童保育所132.7㎡から最も大きいさくらなみ学童保育所452.5㎡までとなっており、1施設当たり平均延床面積は約281.8㎡と比較的小規模な施設となっています。

表 施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	併設施設		備考
				学校敷地内	児童館	
1 たまむし学童保育所	東町4-25-7	296.93	昭和62		●	
2 あかね学童保育所	梶野町5-7-33	170.91	昭和54	●		
3 ほんちょう学童保育所	本町5-4-25	203.38	昭和57		●	
4 さくらなみ学童保育所	本町1-2-13	452.50	平成23			
5 さわらび学童保育所	貫井南町3-6-27	341.60	平成21			
6 たけとんぼ学童保育所	桜町2-3-60	359.90	平成23			
7 まえはら学童保育所	前原町3-3-16	318.52	平成21	●		
8 みどり学童保育所	緑町4-18-25	259.29	昭和61		●	
9 みなみ学童保育所	前原町2-2-21	132.70	昭和48	●		
合計		2,535.73	—	—	—	

1施設当たりの平均延床面積 281.75 ㎡

※ あかね学童保育所の一部は借用している第三小学校の倉庫を改修し、あかね第2学童保育所として運営していますが、延床面積には含まれていません。

(2) 開所日、開所時間

• 開所時間

【学校授業日】 午前 10 時 30 分から午後 6 時まで

【土曜日】 午前 9 時から午後 6 時まで

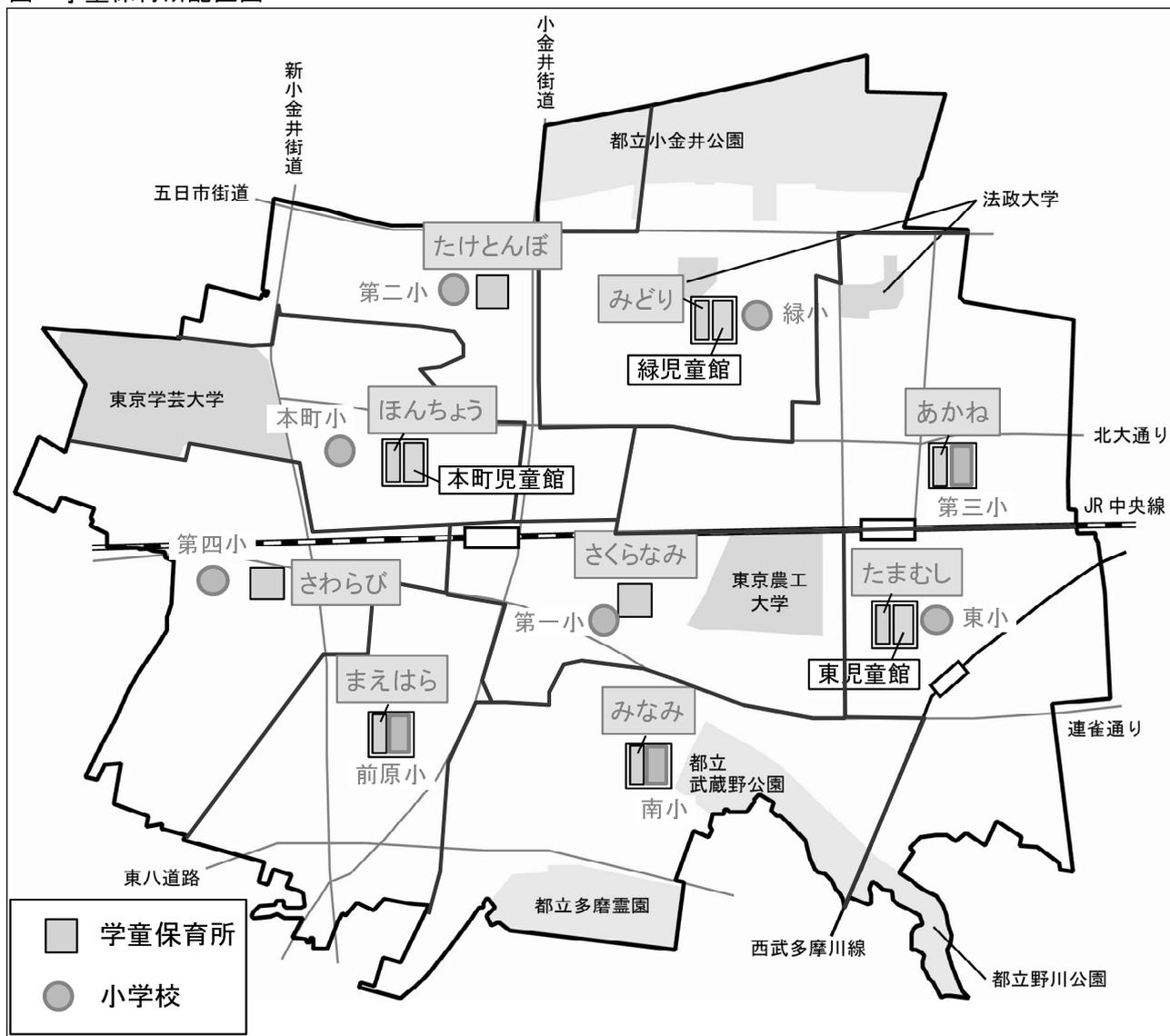
【学校休業日】 午前 9 時から午後 6 時まで

※平成 23 年 7 月 21 日より、学校休業日並びに土曜日は午前 8 時 30 分から開所しています。

• 休所日：日曜、祝日、年末年始

• 年間運営日数：294 日（平成 22 年度）

図 学童保育所配置図

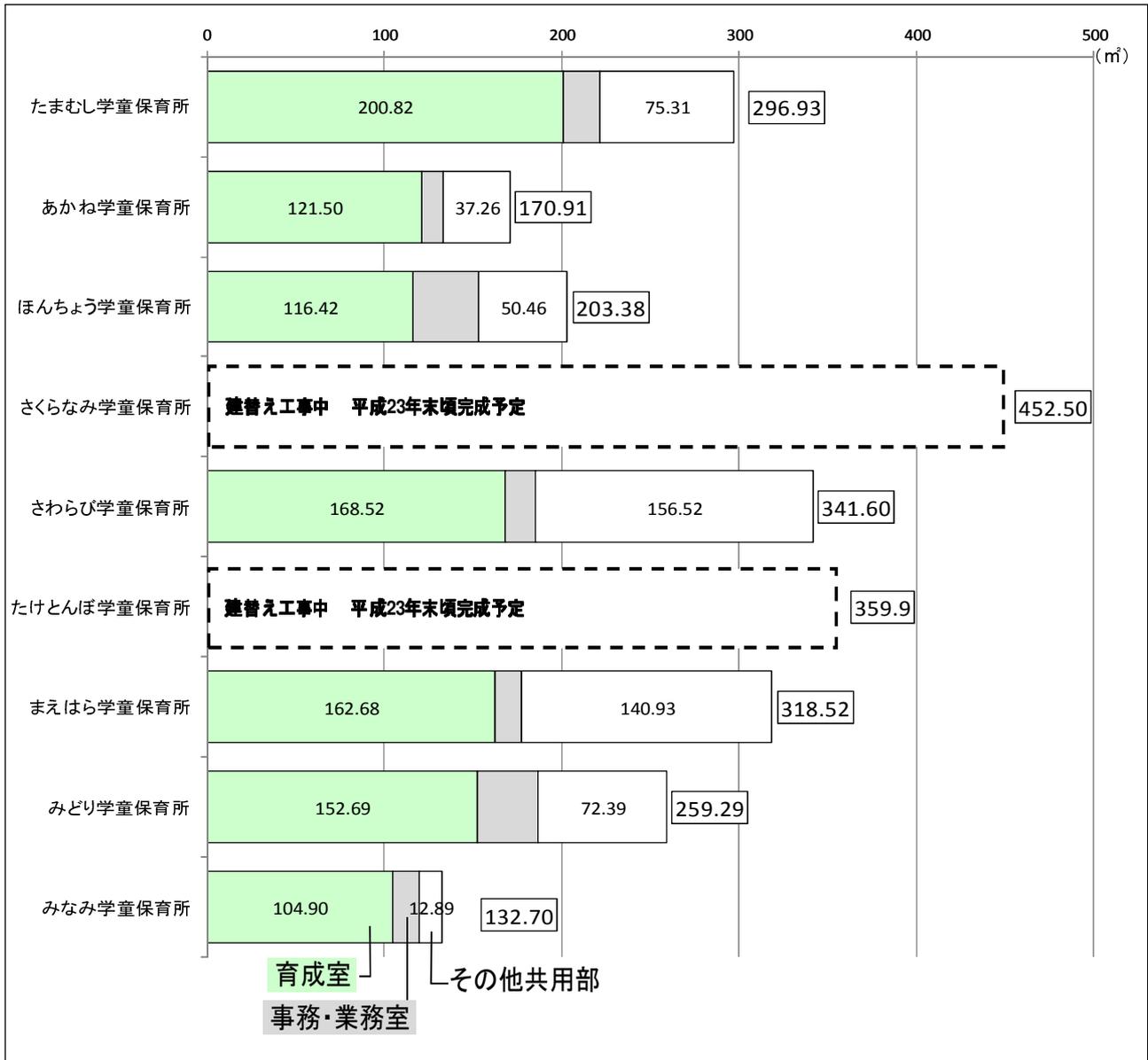


(3) スペース構成

学童保育所の規模（学童保育所面積）は、最も小さいみなみ学童保育所の 138.8 m²から最も大きいさくらなみ学童保育所の 452.5 m²までとなっています。

保有しているスペースは、児童が遊んだり、おやつを食べたりする育成室及び事務・業務室等となっており、全施設同様のスペース構成となっています。

図 スペース構成



2. 実態把握

(1) 建物状況

学童保育所 9 施設のうち、耐震安全性が確保されていない施設はあかね学童保育所、さくらなみ学童保育所及びみなみ学童保育所の 3 施設です。市の計画では、平成 27 年度までに耐震安全性を確保する計画となっており、さくらなみ学童保育所は平成 23 年度に建替えを実施しました。あかね学童保育所は建替え、みなみ学童保育所は大規模改修を実施する計画です。

たまむし学童保育所、ほんちょう学童保育所及びみどり学童保育所は築 20 年以上を経過しており、今後大規模改修等の老朽化対策が必要になると予測されます。

また、大規模改修時にはバリアフリー対応や省エネ・断熱化等の環境対応も検討する必要があります。

図 建物総合評価結果

評価	パターン①	パターン③														
	<p>耐震性 老朽化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震安全性が確保されていない。 ・さらに、老朽化が進行している。 <p>⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p> <p>優先1 ①耐震安全性 振分基準; ①=1の施設</p>	<p>今後 老朽化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進行している。 <p>⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>優先3 ②老朽化状況 振分基準; パターン1以外で ②=2の施設</p>														
該当施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あかね学童保育所</td> <td>昭和54</td> </tr> <tr> <td>みなみ学童保育所</td> <td>昭和48</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 2 施設 ></p>	該当施設	建築年	あかね学童保育所	昭和54	みなみ学童保育所	昭和48	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たまむし学童保育所</td> <td>昭和62</td> </tr> <tr> <td>ほんちょう学童保育所</td> <td>昭和57</td> </tr> <tr> <td>みどり学童保育所</td> <td>昭和61</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 3 施設 ></p>	該当施設	建築年	たまむし学童保育所	昭和62	ほんちょう学童保育所	昭和57	みどり学童保育所	昭和61
該当施設	建築年															
あかね学童保育所	昭和54															
みなみ学童保育所	昭和48															
該当施設	建築年															
たまむし学童保育所	昭和62															
ほんちょう学童保育所	昭和57															
みどり学童保育所	昭和61															
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、耐震化と老朽化対策が必要です。 ・市全体では平成27年度までに耐震安全性を確保する計画です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。 														

(2) 利用状況

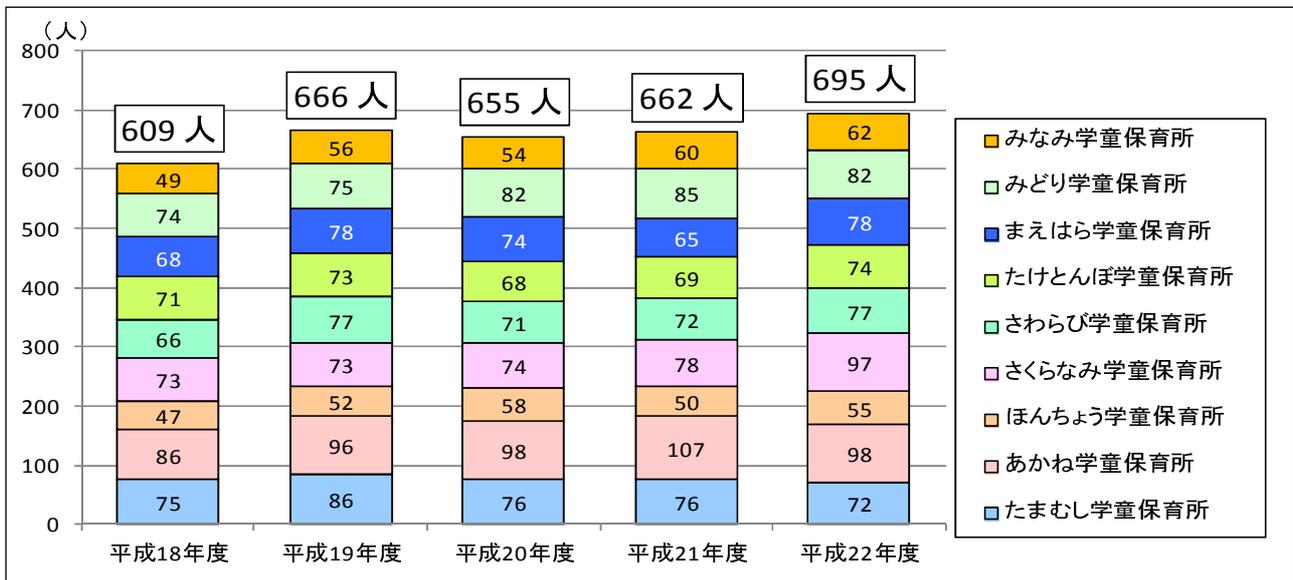
① 在籍児童数の状況

各年度4月1日時点の在籍児童数の推移をみると、平成18年度の609人から平成22年度695人まで86人増加しており、学童保育所の需要が増加していることが分かります。

平成22年4月1日時点での定員及び在籍児童数をみると、全施設定員680人に対し、在籍児童数は695人と在籍率は約102%となっています。各施設での定員及び在籍児童数をみると、全9施設中5施設で定員の弾力化を実施し、定員を超える児童数を受入れて、需要増加に対応しています。なお、入所については要件があります。年間の平均出席率は約68%となっています。

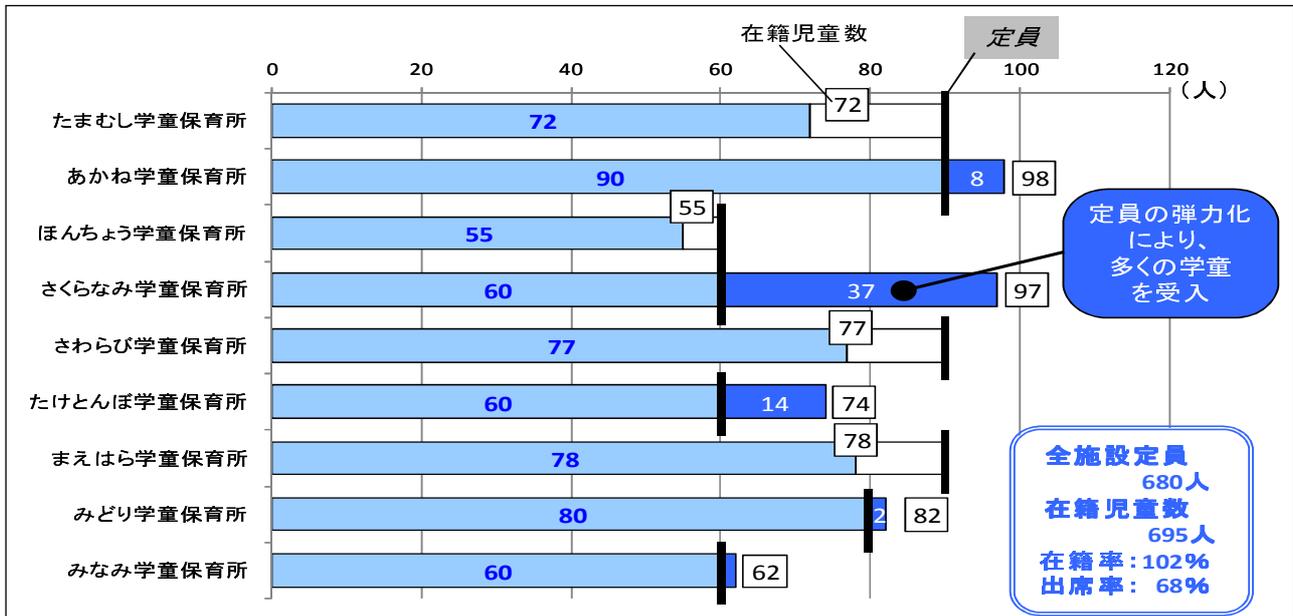
また、在籍児童数の中には障がい児が含まれており、定員は各施設2人で、平成22年4月1日時点での障がい児は14人となっています。

図 在籍児童数の推移



※在籍児童数各年4月1日時点

図 定員及び在籍児童数（平成22年4月1日時点）



(3) 運営状況

学童保育所は全 9 施設を市の職員による直営で行っています。平成 22 年度の全 9 施設では専門職員や嘱託職員、再任用職員、臨時職員合わせて延 56 人が従事しています。施設ごとにみると、ほんちょう学童保育所の 4 人が最も少なく、さくらなみ学童保育所、たけとんぼ学童保育所の 8 人が最も多くなっています。

業務ごとの人員をみると、施設の維持管理等には各施設とも専門職員が 0.30 人から 0.45 人までとなっています。さくらなみ学童保育所は再任用職員が 0.15 人います。

学童保育所運営には専門職員、嘱託職員、再任用職員及び臨時職員が従事しており、各施設 3.70 人から 7.55 人までとなっています。

図 運営人員（平成 22 年度）

(人)

		たまむし 学童保育 所	あかね 学童保育 所	ほんちょう 学童保育 所	さくらなみ 学童保育 所	さわらび 学童保育 所	たけとん ぼ 学童保育 所	まえはら 学童保育 所	みどり 学童保育 所	みなみ 学童保育 所	合計		
施設維持 管理等	直営	一般職員	0.30	0.45	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	2.85	
		再任用職員	—	—	—	0.15	—	—	—	—	—	0.15	
		計	0.30	0.45	0.30	0.45	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	3.00	
学童保育所 運営	直営	一般職員	1.70	2.55	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	16.15	
		嘱託職員	3.00	4.00	2.00	3.00	4.00	3.00	3.00	3.00	3.00	1.00	26.00
		再任用職員	—	—	—	0.85	—	—	—	—	—	—	0.85
		臨時職員	—	—	—	2.00	—	3.00	2.00	1.00	2.00	2.00	10.00
		計	4.70	6.55	3.70	7.55	5.70	7.70	6.70	5.70	4.70	53.00	
合計	直営	一般職員	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	19.00	
		嘱託職員	3.00	4.00	2.00	3.00	4.00	3.00	3.00	3.00	3.00	1.00	26.00
		再任用職員	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—	1.00
		臨時職員	—	—	—	2.00	—	3.00	2.00	1.00	2.00	2.00	10.00
		計	5.00	7.00	4.00	8.00	6.00	8.00	7.00	6.00	5.00	56.00	

(4) コスト状況

学童保育所9施設の年間トータルコストは、3億194万円(1施設当たり平均3,355万円)です。内訳をみると、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託料等)3,652万円(約12%)、事業運営にかかるコスト(人件費・その他物件費等)2億5,052万円(約83%)、減価償却相当額1,490万円(約5%)となっています。

学童保育育成料収入は全9施設合わせて年間4,858万円(1施設当たり平均540万円)です。

表 施設別公共施設トータルコスト計算書(平成22年度)

I. 現金収支を伴うもの (千円)											
【コストの部】	たまむし学 童保育所	あかね学童 保育所	ほんちよう 学童保育所	さくらなみ 学童保育所	さわらび学 童保育所	たけとんぼ 学童保育所	まえはら学 童保育所	みどり学童 保育所	みなみ学童 保育所	合計	
施設にか かるコ スト	専門職員人件費	2,340	3,510	2,340	2,340	2,340	2,340	2,340	2,340	22,230	
	再任用職員人件費	0	0	0	527	0	0	0	0	527	
	修繕料	201	422	54	116	5	0	8	582	373	1,761
	改修費	1,277	0	0	0	0	0	0	0	0	1,277
	光熱水費	592	680	499	512	751	549	714	590	400	5,287
	委託料	367	65	306	248	250	96	202	397	73	2,004
	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	1,651	0	0	0	1,651
	公有財産購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	186	233	157	261	195	187	196	192	175	1,782
	施設にかかるコスト	4,963	4,910	3,356	4,004	3,541	4,823	3,460	4,101	3,361	36,519
事業運 営にか かるコ スト	専門職員人件費	16,844	25,267	16,844	16,844	16,844	16,844	16,844	16,844	160,019	
	再任用職員人件費	0	0	0	2,988	0	0	0	0	0	2,988
	嘱託職員人件費	6,658	9,200	4,596	6,974	8,705	6,699	6,863	7,101	2,292	59,088
	修繕料	0	33	13	0	0	14	0	0	8	68
	委託料	25	25	25	25	25	25	25	25	25	225
	使用料及び賃借料	104	52	91	106	49	34	51	90	34	611
	車両・備品購入費	0	0	0	0	0	0	84	0	0	84
	負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物件費(臨時職員費)	22	22	22	2,429	22	1,314	2,381	1,345	2,915	10,472
	その他物件費	1,975	2,293	1,346	2,401	1,757	1,801	1,803	2,020	1,570	16,966
事業運営にかかるコスト	25,628	36,892	22,937	31,767	27,402	26,731	28,051	27,425	23,688	250,521	
現金収支を伴うコスト 計	30,591	41,802	26,293	35,771	30,943	31,554	31,511	31,526	27,049	287,040	
【収入の部】											
収入	分担金及び負担金(収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	使用料収入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48,577
収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収入の合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,577	
II. 現金収支を伴わないもの											
コスト	減価償却相当額	1,401	798	691	1,042	3,545	2,292	3,878	1,128	120	14,895
	不納欠損額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入	収入未済額等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
III. 総括											
コストの部合計(トータルコスト)	31,992	42,600	26,984	36,813	34,488	33,846	35,389	32,654	27,169	301,935	
収支差額(ネットコスト)	31,992	42,600	26,984	36,813	34,488	33,846	35,389	32,654	27,169	253,358	

※トータルコスト以外にさくらなみ学童保育所及びたけとんぼ学童保育所には建替工事設計委託料が合計1,079万円かかっています。

事業運営にかかるコスト 2 億 5,052 万円の内訳をみると、専門職員人件費が 1 億 6,002 万円と事業運営にかかるコストの約 64%を占めています。その他に嘱託職員人件費やその他物件費等がかかっています。

施設にかかるコスト 3,651 万円のうち、専門職員人件費が 2,223 万円と施設にかかるコストの約 61%を占めています。

施設別のトータルコストをみると、最も低いのはほんちょう学童保育所の 2,698 万円で、在籍児童数も 55 人と最も少なくなっています。最も高いのはあかね学童保育所の 4,260 万円で、在籍児童数も 98 人と最も多くなっています。

コスト構成をみると、事業運営にかかるコストがトータルコストの約 67%から約 87%までと、ほぼ同様の構成となっています。

図 学童保育所 全施設トータルコスト（平成 22 年度）

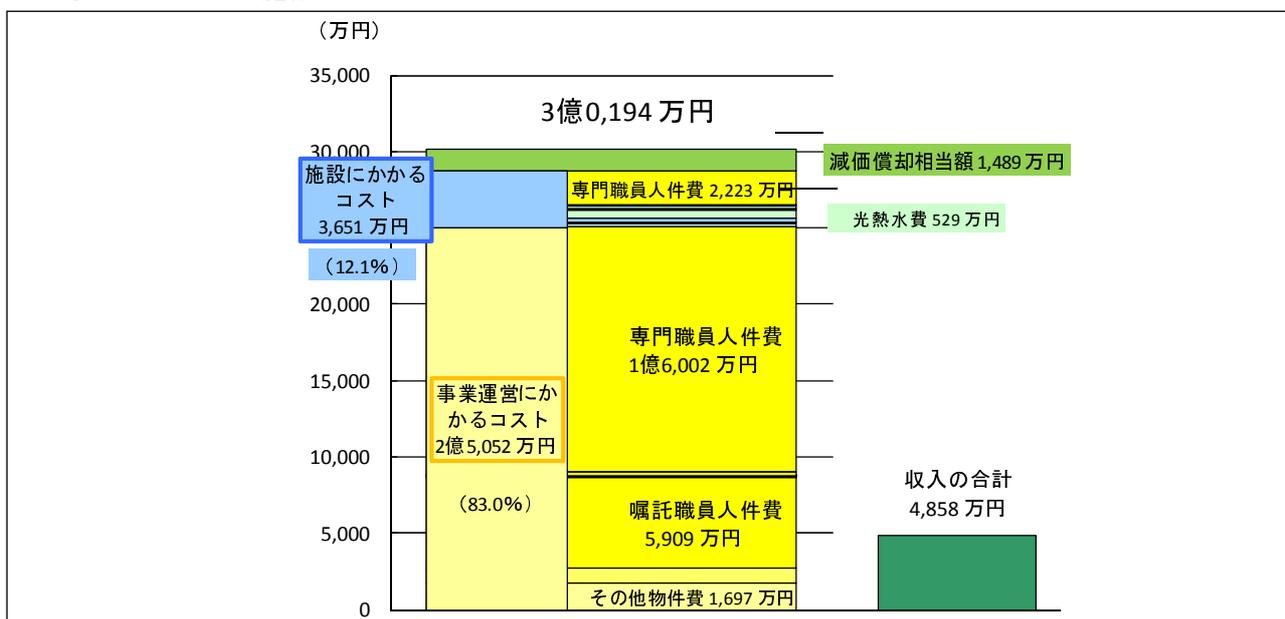
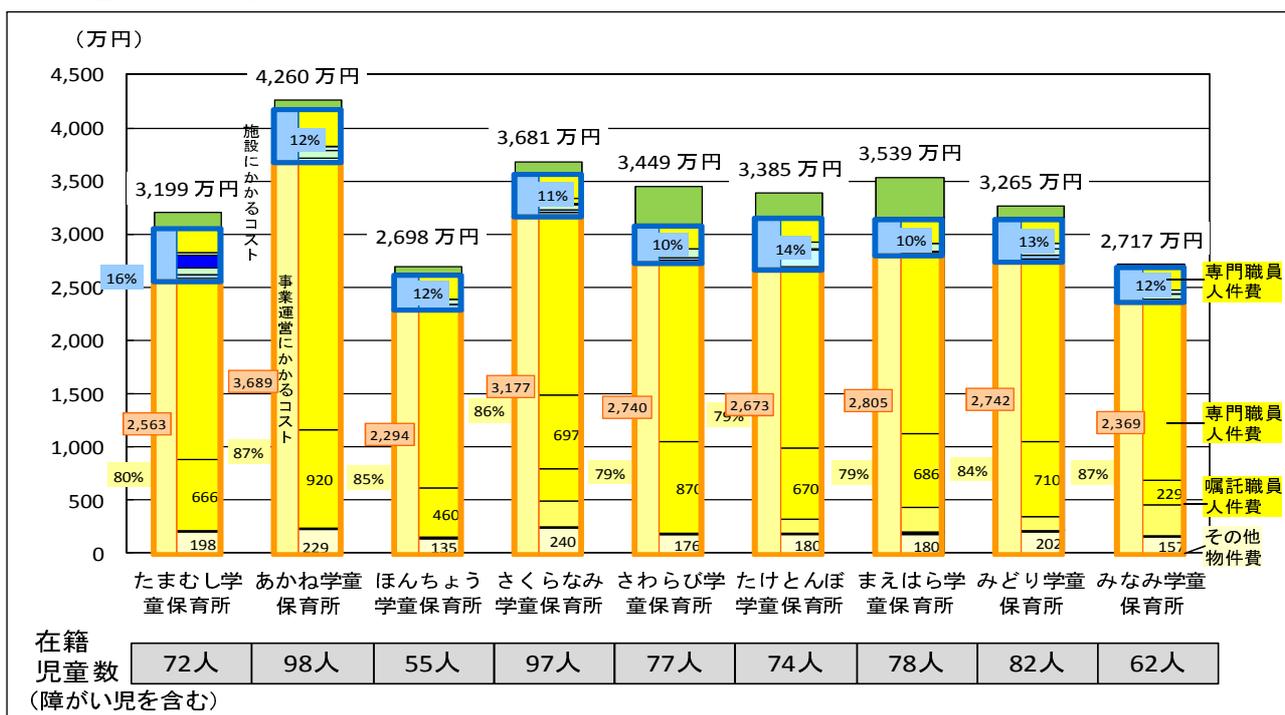


図 学童保育所 施設別トータルコスト（平成 22 年度）

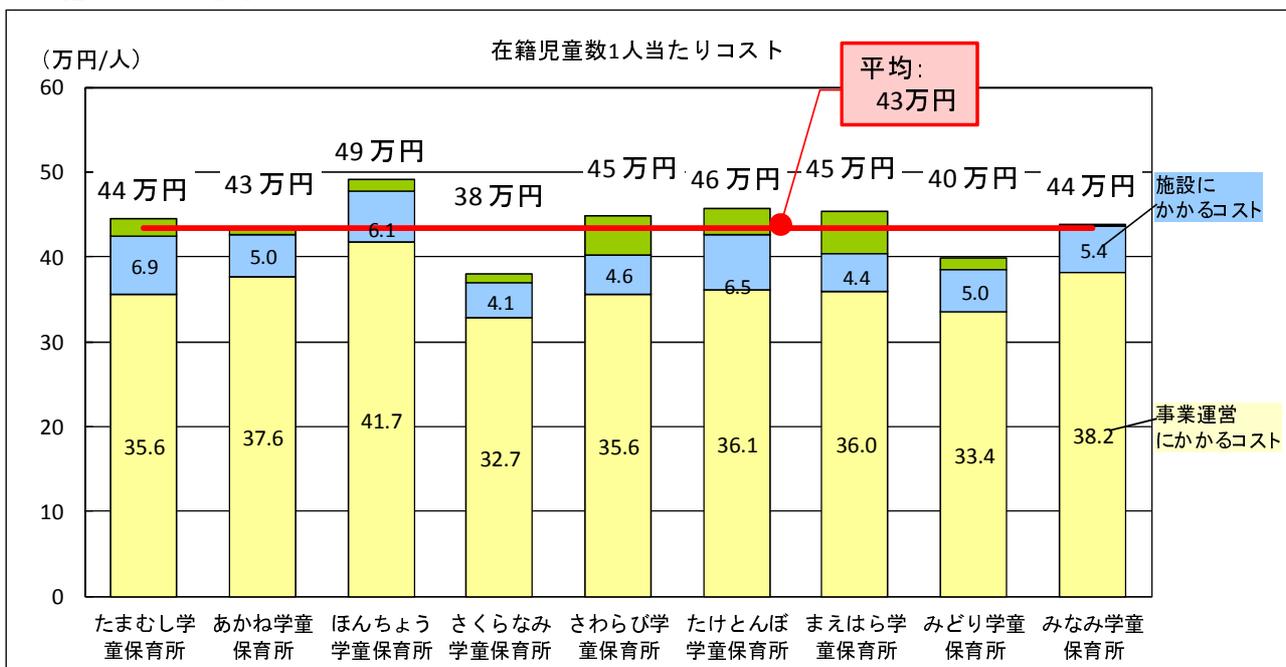


3. 評価・分析

(1) 在籍児童数とトータルコストの関係（在籍児童数1人当たりコスト）

在籍児童数とトータルコストから在籍児童数1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は43万円/人です。施設別では、さくらなみ学童保育所の38万円/人が最も低く、ほんちょう学童保育所の49万円/人が最も高くなります。

図 施設別 在籍児童数1人当たりコスト



■ 今後の課題

運営面からみた課題

- 学童保育所に対する入所希望等のニーズに対しては、学童保育所の整備や定員の弾力化により対応しています。今後更なるニーズの増加に対応するために効率的・効果的なサービスを行うことが必要です。